

大きな空と緑の草原で

<大地の学校>2025

第38回 夏の短期教室 参加案内

人は生き方を学びながら人生を歩みます。<大地の学校>は、北海道の牧場を拠点に生活から学ぶ場として'86年から開催しています。知育過剰の社会にあって、緑の大地での生活は子供たちに豊かな情操を育む一助になるでしょう。この短期教室は、冒険やサバイバル体験の場ではなく、自然に囲まれた暮らしの楽しさと<大地の学校>ならではの生活教育に重点を置いています。

募 集 要 項

◆期 間

7月25日～8月8日（14泊15日）

◆集 合

・各組開始日 到着時に帯広空港1階到着ロビーにて。

◆解 散

・各組終了日 出発時に帯広空港2階出発ロビーにて。

◆活動地

北海道上士幌町<大地の学校>を拠点に道内数ヶ所

◆内 容

<大地の学校>での生活を基本に次の活動を行います。ただし、仕事に関しては参加者の年齢や適性を見て割当てるので以下の全部のことはではありません。また、スケジュールに追われるのではなく、せっかく広い北海道に来たのだから、ゆとりを持って活動させたいと思っています。

*生活体験 — 食事準備、片付け、掃除、洗たく干しなど日常生活は出来るだけ高学年を中心に参加者で分担。

*野外活動 — キャンプ／釣り

・川遊び：<大地>の近くには、きれいな溪流がいたるところにあり、そこで釣りや水遊びをします。

・悪天候の時には、帯広の屋内リンクでスケート遊びも。

*牧場体験 — ・ヤギ・ヒツジ・犬・猫・鶏などの動物が居る。
エサやり・畜舎掃除などの世話をします。



．．．． 参 加 説 明 と 注 意 点 ．．．．

★集 合 集合点呼は帯広空港で行いますので、出発は各家庭で随時手続き下さい。
小学生の場合は、空港カウンターには少なくとも1時間は早めに行って『子どもサポートを申し込みます』と言って下さい。
簡単な手続きの後、指定された時間になれば職員が子供だけを機内に引率し、その後帯広空港到着時に出迎えている私に引き合わせをして頂けます。
なお、中高生はサポートサービスの対象外です。

長い短期教室の歴史の中で、このことでトラブルがあった事は無いので初めての方もご安心を。

なお、帯広到着後には昼食の時間がないので、昼食は弁当持参の上機内で食べておくようにして下さい。

道内からの参加者も、原則としては帯広空港での集合解散です。

★解 散 集合時と同じく、子どもサポート制度で乗せますので、各空港での出迎えをお願いします。

★宿 舎 <大地>での施設をベースとし、キャンプではテントと屋内施設を使い分け、体力に無理のないように組んでいます。

★生 活 ここでは皆が気持ちよく生活するための取り決め事が有ります。他の人と共に生活する事を学べるでしょう。

★健 康 各種アレルギーや持病のある子については、急に発作が出たときの対応で必要なので保護者は必ず申し出て下さい。
特定の薬剤などを使用している場合も、必ず事前にお知らせ下さい。

★所持金 期間中の活動と生活に必要な費用は、参加費に全て含まれています。「持ち物」に書いてある「病気時治療に関する費用」以外の余分なお金は持たさない様にして下さい。おみやげの購入も禁止です。素晴らしい思い出が、おみやげになるのですから。

★持ち物

- ・病気時用治療費（念のために1万円を、名前を書いた封筒に入れて下さい）
- ・マスク（<大地>滞在活動中は不要ですが、出身各地との往復時用に）
- ・着替え（3～4着分でよい） ・タオル ・バスタオル2枚 ・ハブラシ
- ・健康保険証（コピーで可） ・ゴム長靴（仕事に使う）
- ・予備の運動靴（川歩きで濡れる為）
- ・水遊び用サンダル（クロックスなど、かかとが脱げにくいようにベルトが付いたタイプに限る）
- ・ジャージかトレーナー（就寝に使用） ・水着 ・水泳帽 ・水中ゴーグル
- ・帽子（野球帽のようなキャップ型のもの。麦わら帽はだめ）
- ・ナップザック（外出時に使うので小サイズの物を）
- ・ジャンパー（夏でも朝晩は冷えます。本州での冬用を1着必ず）
- ・長袖の服1着（長袖のセーター類を。昼は本州と変わらぬ暑さだが、キャンプでの夜は10度くらいになることも）

*現金など貴重品は、当方郵送の指定袋に入れて持たせて下さい。集合時に預かります。

- * 持ち物には、必ずマジックで名前を記入のこと！！（特に下着も含めた衣類！）
- * 体の小さい子の持ち物は、手提げ式のカバンにせずリュックに入れて下さい。
- * 寝袋などキャンプ用品、仕事用作業衣や道具は、用意しているので持参無用です。
- * 女子の場合、期間中スカートは着用禁止。 野外活動に相応しい姿を。
- * 携帯電話／携帯ゲーム／携帯音楽／カメラ（使いきりカメラも含む）などは全て持込禁止です。
- * 海水浴でのシュノーケルは危険なので持込禁止です。浮き輪は有ります。

★荷物の
発送

高学年の子は、荷物はなるべく自分で持たせましょう。
遠いところへの一人旅は、苦勞のさせどころですよ。
でも、持つのには負担が大き過ぎる場合は宅急便で送って下さい。
なお、荷物の発送の場合は、次の点で注意して下さい。

- * 送る荷物も必ずリュックやバッグに詰める。
ダンボール箱は使わないで下さい。
期間中は移動があるので持ち運びに困ります。
大きくて重いので海外旅行用のスーツケースもダメです。
- * 発送に際しては注意点が他にもありますので、別途メールでのお知らせを必ずお読み下さい。



キャンセルの規定

各組集合日の14日前までに参加キャンセルの連絡を受けた場合は、頂いている参加費の半額をお返しします。それ以後の場合は、お返し出来ませんのでご了承願います。

参加取消しの規定

参加者について以下のような場合は、参加を取り消し実家に帰って頂きます。この場合、参加費は全額お返し出来ませんので予めご了承願います。

- 一、派手な毛染め・化粧・ピアス・マニキュアなど<大地>に相応しくない身なりの時。
- 二、<大地>の運営上差し障りのある行動を、注意しても止めない時。

■ ■ ■ 初めての参加 Q & A 集 ■ ■ ■

過去に頂いた問合せの中から、いくつかご紹介します。

- > 持ち物についてですが、「ねまき」は用意した方が良いでしょうか？
> 「ジャージあるいはトレーナー」というのが「ねまきがわり」なのでしょうか？

→はい、そうです。期間中は宿舎やテントで寝ますが、いずれにしろ寝袋を使います。その際には、ジャージか翌日用の服で寝ます。パジャマ類は不要です。

- > 洋服は何枚ぐらい持たせれば良いでしょうか？

→洗濯は毎日行います。下着は4着、衣服は3着分程度有れば良いでしょう。低学年ほど少なめにしないと紛失するだけです。なお、必ず全部にマジックで名前を書いて下さいね。
なお、タオルは1枚を、バスタオルは2枚を。

- > 帯広空港での出迎え、見送りはどのようにされるのですか？

→帯広空港での出迎え見送りは<大地>で行います。帯広空港は小さな空港でして、1ヶ所しかない出口の前で待っています。100%判りますからご安心を。なお、小学生については、案内書に書いてあるように空港カウンターで子どもサポートサービスを申し込んで下さい。各地から羽田で乗り継ぐ場合も職員間で引継ぎ、帯広空港で待つ当方の元へ連れてきてくれます。

- > そちらでの滞在中、子供本人が帰りのチケットや薬を所持しているのですか？

→いいえ。到着後、病気時治療費の封筒・チケット・健康保険証などは預かります。

*****>

- > 服装のことで、半そでより、うすでの長袖を中心に持たせた方が良いでしょうか？

→北海道もバカにならないもので、晴れた日の昼間は30度を越すこともあります。そういう日はこどもは半ズボンに半袖です。注意するのは、野外キャンプでの朝と夜対策です。最低気温は15度から10度くらいになることもあるのでまず長袖ですね。夜中には、冬のように吐く息が白くなります。それと天気の悪い日は昼間も寒いです。ジャンパーは必需品です。

.....

が、その可能性の有る子の場合は、事前の説明はしておいて下さいね。

＞ 雨具の記載がありませんが、傘やカップ、ザックカバーは要りませんか？

→＜大地＞はサバイバルキャンプの場ではありません。雨具は不要です。ただ、北海道は夏でも雨天時は寒いのです。短い短期教室期間に病気で寝込んでほもったいないので、原則として雨の中での野外活動は行いません。

＞ 思う様にそちらで過ごせずに途中でリタイヤとかになる場合はどうなるのですか？

→毎回、1人くらいはホームシックで泣く子がいます。早い子は1日目の夕方ですね。この手の子は、基本的にほっときます。かまってくれる親が居ないことがわかれば、そのうちに泣き止んで輪に入ってきますから。20年以上になる短期教室の長い歴史ですが、小学生で途中リタイヤさせた子は居ません。(中学生や高校生で帰らせた子は時々居ますが・・・)大きくなってホームシックになる場合の方が問題が大きいように思えます。可愛い子には旅をさせよ、っていろんな意味が含まれていますね。

.....

..... **初めて＜大地の学校＞に応募する方へ**

＜大地の学校＞とは大阪に生まれ育った私、森田が86年から北海道で開いている農村生活を体験するための私塾です。都会で生まれ育った青少年が、農村での仕事や暮らしを体験し、その中から、これからの人生の糧になるものが有ればと思い開いて来ました。

若者に、自分の五感で持って自然と向き合う生活の場を提起したい。土にまみれ、動物に触れ、人に出会う。世の中、大地の上で生きる道もある。そんなことを学ぶ学校があってもいいじゃないか。＜大地の学校＞は、私のこんな想いの中から始まった『もう一つの』学校です。

＜大地の学校＞の主とした活動は、夏休みや冬休みの時期に1～2週間の短期教室を開催。1986年夏に第1回を開いてから現在まで既に800人以上の青少年が参加しました。93年には私の住所を、それまでの大阪から北海道に移し、より幅広い活動を展開する態勢を取りました。そして95年4月からは、森田家ででの生活を基本にした通年制の農村留学も行なってきました。

この説明書は、夏の短期教室の説明ですが、農村留学など他の企画については別途お問い合わせ下さい。

★ **保護者の皆さんへ** ★

＜大地の学校＞とは、森田一家を基本とした極めて私的な生活圏に、他者の子どもを受入れて成り立っている場です。我々夫婦は、農村留学であれ短期教室であれ、家庭の中に親戚の子を預かる気持ちで精一杯取り組んでいます。そのことで保護者から頂く好評が開始以来30年を越える実績を支えているものと自負しております。

しかし＜大地の学校＞は、あくまでも森田夫婦の個人的活動であることを踏まえて頂きたいと思います。あたかも多くのスタッフを抱える団体に対するように、私どもに過大とも思えるサービスを求める保護者がたまに居られます。私どもは近所付き合いのように、個人関係の延長で他者の子どもさんを預かっているつもりです。このことに不安や不信を持たれる方は＜大地の学校＞に応募されないようお願いします。

＜大地の学校＞では、今まで大した事故も無くやって来ていますが、子どもたちに大自然のワイルドな体験をさせようとするなら、常に危険も隣り合わせに在ると考えなければなりません。もちろん、有ってはならない事ですが、万が一の事態の保証は参加者に掛けている障害保険の範囲内に限らせて頂くようご了承下さい。

大地の学校 全景



＜大地の学校＞ 森田真礼夫

〒080-1406 北海道河東郡上士幌町居辺964番地

＜携帯＞090-4870-2108

＜FAX＞01564-2-3354